

参加型学習から学ぶ！ ～「ランキング法」を使った整理術～

今年も残りわずかとなってきました。年末年始といえば、「整理整頓」の時期でもあります。ただ、「何を捨てて、何を残そうか」を悩んで、片付けが進んでいない方もいると思います。そんな方でも整理整頓に役立つ、モノの優先順位をつけられる「ランキング法」についてご紹介します。

●「ランキング法」とは

参加型学習の手法の1つであり、テーマに関するワードを10個前後に分け、自分にとっての重要性・必要性があるかどうかを判断する方法です。この手法を用いることで、自分自身のものの見方や考え方を客観的に整理することができます。

●「ランキング法」をやってみよう！

今回は「年末までに片付けたいもの」とし、9つのワードを決めます。この9つのワードに優先順位を決め、本当に不要な物を見つけてみましょう。

用意するもの

- ・付箋紙 9枚
- ・えんぴつ 1本

- (1) 「年末までに片付けたいもの」9つを付箋紙に記入し、右表（ダイヤモンドグラフ）のように不要なもの（使用頻度が少ないもの）が一番上になるように並べていきます。
ワードが思いつかない場合は、下記の例を参考にしてみましょう。

●ワード例

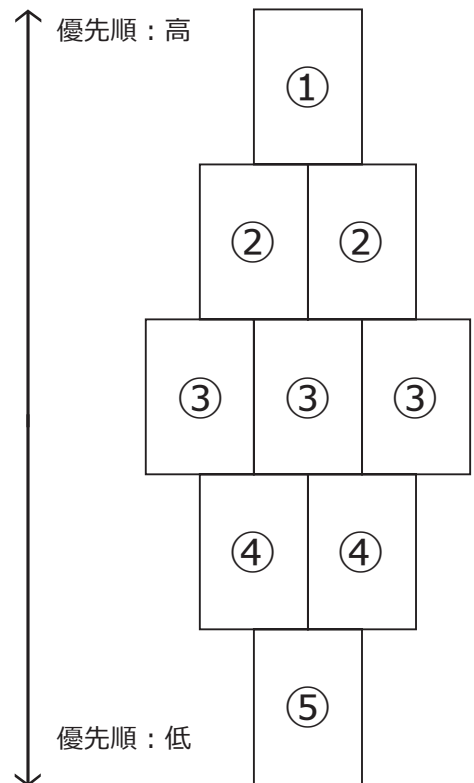
文房具、衣服、本・雑誌、家具・家電、保存食品、靴、小物、食器、玩具など

※右表の四角の中の数字（①～⑤）は優先順位を表しています。

上段と下段から埋めていくと表を埋めやすいです。
順位付けが難しいものは真ん中の③に入れてみましょう。

- (2) 「年末までに片付けたいもの」9つを並べることが出来たら、あとは①から順番に整理整頓していきましょう。

ダイヤモンドグラフ



まとめ

「ランキング法」は、複数人でも出来る手法です。他者のランキングを見ることでモノの見方を対比することができ、新しい発見をすることが出来ます。

また、この手法は「課題整理」や「集団の合意形成」にも使うことが出来ますので、所属する団体やサークル等の活動で使ってみるのはいかがでしょうか。

■お問合せ 沼田町教育委員会 ☎35-2132

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>

